

# 令和2年度 施政方針

「ワンチーム」の精神  
で、高石市のさらなる  
飛躍・発展をめざして」

3月に開催された第1回高石市議会定例会において、阪口市長は、「第2期高石市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定なども含めた令和2年度施政方針を第4次高石市総合計画の5つの目標である「ひとにやさしい育みのまち」、「ひとにやさしい暮らしのまち」、「ひとにやさしい安全・安心なまち」、「環境にやさしいまち」、「地域活力あふれるまち」に沿って発表しました。その概要をお知らせします。

※施政方針の全文は市ホームページでご覧いただけます。

## - 「第2期高石市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定 -

### 「地方創生」の取組み

「第2期高石市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、これまでの基本的な方向性は維持しつつ「多世代での人材育成・交流の推進」「優良な地域資源の有効活用」の推進」「民間活力によるまちづくりの推進」という3つの新たな視点を加え「みんなが集い、住み続け、生涯活躍できる魅力あるまちたかいし」を目標とし①子どもを産み育てやすい環境を整える②地域が稼ぎ、働きやすい環境を整える③いつまでも健康にすごせる環境を整える④人が集い、住みたくなる環境を整える、の4つの基本目標を設定します。

これらの基本目標の達成に向け、これまで成果をあげてきた取組みをさらに深化させ、継続するとともに、新たに地域資源を活用し、交流人口等の増加と優良な雇用の創出などにより、持続可能なまちづくりをめざします。

## - ひとにやさしい育みのまち -

### ICT環境の整備

学校教育については、未来社会を生きる子どもたちに必要となる「21世紀型能力」すなわち基礎力・思考力・実践力を、主体的・対話的で深い学びを核とする学習活動を通じて身につけられるよう、ICT環境の充実、英語教育やプログラミング教育の実施など「高石市教育振興基本計画」に基づき、着実に取組みを進めていきます。児童・生徒1人に1台のタブレット端末を整備し、新学習指導要領で求められている深い学びが得られる学習や、A・Iドリルを使った個別最適化の学習など、新しいスタイルの授業を進めて学力向上に取り組めます。



### 妊娠・子育て期をサポート

妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援をワンストップで行う「子育て世代包括支援センター」においては、市立母子健康センターとも連携し、妊娠婦や乳幼児の家庭の状況によって日々変化する子育てに関する悩みや相談に対して、その方に必要な支援を行います。子育て支援施策につきましても、アプラたかいしに子育てウェルカムステーション「HUGOOD」(ハグッド)を開設し、開設以来15万人以上の方にご利用いただくなど、成果をあげています。また、同施設にてイベントの開催などにあわせて、育児相談や就労支援を行うなど、さらなる施設の利用を促進し、充実した子育て・教育環境をPRすることで定住促進を図ります。

## ■教育施設の改修・拡充

「高石市教育振興基本計画」に基づき、子どもたちが安心して楽しく学べる学校づくりに、より一層取り組みます。

### ▼松の実園移転

児童発達支援センター松の実園及び総合保健センターで療育しているバンビグループについては、津波浸水想定区域内に位置していることから、旧北幼稚園に移転し、子どもたちの安全・安心な療育環境を整備し、令和4年度の開園をめざして取り組みます。

### ▼小学校水泳指導

羽衣小学校プールは現在、老朽化により閉鎖しており、あり方について検討してきましたが、今後、同校の学校水泳指導を民間へ業務委託することにより、専門的なインストラクターからの指導を取り入れ、子どもたちの泳力向上を図ります。

## - ひとにやさしい暮らしのまち -

### ■我が事・丸ごこの地域づくり

地域福祉施策につきましては、地域共生社会の実現に向け、複合化・複雑化した地域生活課題を把握して解決を試みる「我が事・丸ごと」の地域づくり・包括的な支援体制の整備を図るとともに、「アプラたかいし」における集いの場、相談会等の実施や市内7郵便局と連携した「暮らしのサポーター」事業を実施しておりますが、令和2年度は、老人福祉センターにおける相談拠点機能を強化するなど、市民にとって身近な交流・相談拠点の整備を進めていきます。



### ■“健康のまちづくり”

健康のまちづくりについては、公民連携による「高石市健康のまちづくり協議会」を立ち上げ、平成29年10月から、対象者を20歳以上に拡大して再スタートした健康ポイント事業を、これまでの成果を踏まえて、新たに地域間連携も図りつつ、定員を3千人から4千人に拡大する予定です。



### ■瑞松苑の移転

老人福祉センター瑞松苑は、老朽化が進んでいることから、より堅固な高石市コミュニティセンター（デージードーム）に移転統合し、コミュニティセンター機能と老人福祉センター機能を、これまで以上に有効に活かした複合施設としてリニューアルすることで、機能の拡充・強化を図り、高齢者福祉と地域コミュニティの拠点とともに、新たな集いの場として、より一層の利用促進を図ります。



## - ひとにやさしい安全・安心なまち -

### ■防災力の強化

近年、全国的に被害が発生している台風、地震等の大規模な災害などに対応するため、国や大阪府の各防災計画等との整合を図るとともに、防災関係機関などが示す新たな知見の反映を行うため、本市の地域防災計画について見直しを行っています。

国では、大規模な自然災害等に備えるため事前の防災・減災と迅速な復旧復興等に備えた強靱な国づくり、地域づくりを進めるために、国土強靱化に取り組んでいます。本市においても、令和2年度に国土強靱化地域計画を策定し、さらなる安全・安心のまちづくりを進めていきます。



### ■地域に合わせた防災対策を

本年も引き続き、「防災シンポジウム」や「まちづくり勉強会」を開催し、防災意識の向上を図るとともに、各自治会や自主防災組織に「地区防災計画」の策定を促し、地域の防災力の向上に取り組みます。「津波防災の日」である11月5日には、全ての市民、学校園、企業の皆様並びに防災関係機関にもご参加いただき「地震津波総合避難訓練」を実施し、防災意識の向上を図ります。

さらに、災害時などにおける情報伝達手段として、これまで、市内に防災行政無線の整備を進めてきましたが、情報伝達手段の多様化として、放送された内容を確認できるように、電話応答装置の整備を行っています。



### ■蓮池公園の整備

蓮池公園については、令和元年度に事業認可を取得し、用地買収に取りかかりました。令和2年度についても、精力的に用地買収に取り組み、みどり豊かな市民の憩いの場、スポーツ・健康づくりの場として、また、災害発生時には防災機能を備えた防災拠点となる公園整備の早期完成に向け、事業を進めてまいります。



## - 環境にやさしいまち -

### ■喫煙等への対策

高石市受動喫煙・路上喫煙等対策の総合的推進に関する条例が、本年4月から施行しました。望まない受動喫煙による健康被害の防止、喫煙マナー及び環境美化意識の向上を図るため、受動喫煙、路上喫煙、吸い殻のポイ捨ての防止などの喫煙等対策について取組みを進め、市民等の健康増進及び安全かつ快適な生活環境の確保に努めます。

### ■自然環境保護への取り組み

国において7月からプラスチック製レジ袋が有料化されることから、本市においても、市民へのエコバッグの使用促進に取り組みなど、引き続き、資源循環型社会や低炭素社会の形成に向け、取り組めます。本市としても高師浜の砂浜の保全や稚魚の放流等、自然環境の保護に取り組んでいきます。



## - 地域活力あふれるまち -

### ■生まれ変わる羽衣駅前



羽衣駅前再開発事業により、昨年8月に再開発ビル「イコーネはごろも」と南海本線羽衣駅とJR東羽衣駅を結ぶペDESTリアンデッキ「天女のこみち」が完成した事で、バリアフリー化により暮らしやすく、交通結節点として、安全かつ利便性が飛躍的に向上しました。今後も引き続き連続立体交差事業の進捗状況と調整を図りながら、周辺道路や駅前広場の整備を進め、さらなる駅周辺の活性化、賑わいのあるまちづくりに向け取り組みます。

### ■高石シーサイドフェスティバル

高石市ブランド戦略の一環で地域活性化を目的としてスタートした、本市の一大イベント「高石シーサイドフェスティバル」については、本年度8回目を迎えます。年々来場者も増加しており、昨年は3万9千人を超える方に楽しんでいただきました。今後も市内外へ本市の魅力を情報発信し、集いの場として交流人口等の増加を図り、さらに定住促進にもつなげるべく、充実・発展させていきたいと思っています。



### ■地域・産業振興

地方創生の一環として、旧保健センターをリノベーションし、高齢者なども含めて集い、賑わいを創出できる収益施設を兼ねた多世代交流の拠点等として整備していきます。漁業振興については、本年4月に高石漁港が大阪府から移管されますが、これにあわせ、現在、大阪府により防潮堤等の施設整備が行われています。今後とも大阪府、高石市漁業協同組合等と連携し、漁港の適正な管理とさらなる水産業の振興に向け、取り組みます。



### 市長あいさつ



本市の第4次高石市総合計画は「市民主体のやさしさと活力あふれる健幸のまち」を基本理念に設定し、成果をあげてきました。今後は第5次高石市総合計画の策定に向けて取り組んでまいります。

市民の皆様が夢と希望あふれるこの愛すべき郷土（ふるさと）高石市のさらなる飛躍・発展をめざし、今後とも、職員一丸となり「ワンチーム」で取り組んでまいります。引き続き、議員各位と市民の皆様との温かいご理解とご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

阪口伸六